

2025 年度 ニチキッズさいたま保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026 年 1 月 20 日（火）～2 月 17 日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年1月23日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」という保育理念を基本とし、「子どもの主体性」の意味を理解し、一人ひとりの子どもの気持ちを傾聴する保育園づくりのため MTG・会議等で情報の共有をしてすすめた。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの発達・実情に沿った保育を計画。また、日々の子どものに即した柔軟な保育を実践。今後も保護者・関係機関との連携・情報共有に努め、発達に関して実情を把握し取り組んでいきたい。
保護者に対する支援	保護者が自由に子どもの姿を見られるよう日程に余裕をもった行事を開催し保護者との交流に努めた。また、送迎の際の声掛けにより子どもの様子を伝えられるように意識して取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	外部研修・内部研修への参加・定期的職員面談・毎週火曜日職員会議の開催を定着させた。人員配置の関係上研修のフィードバックの定着が難しい状況で紙面での共有となってしまった。引き続き、保育の質の向上に取り組んでいきたい。

総評
昨年度に引き続き「子ども主体」を目標に掲げ、「一人一人の個性を尊重した保育」「地域に開かれた保育」など、子どもたちが自ら選んで保育ができるような環境を設定・計画して一年間進めてきた。しかし、「感覚統合遊び」「リズム遊び」など活動の趣旨をしっかりと共有し取り入れるといった共有認識までは至らない点もあった。今以上に一人ひとりの発達に応じた保育の展開ができるように努めていきたい。その他には、保護者ボランティアによるサッカー・英語・小学校の授業体験保育・埼玉大学との交流など保護者や地域を巻き込んだ保育の展開について取り組めた。次年度も子どもを中心としたより開かれた保育園づくりを目指したい。